

タウンミーティング記録 未来へ向けて 今、ここから

日 時 令和6年6月9日(日)午前10時～11時30分
場 所 ソラガーデン自治会集会所（ソラガーデン）
参加者 26人



主な意見等

参加者 毎月配っている市報について、内容はそんなに変わっていないのにすごく立派な冊子になっていて、結構お金がかかっているのではないかと思います。私は毎月そこまで読み込んでいないのもったいないと思うのですが、他の方はどう思っているのか、気になります。

市 長 確かに、皆さんに情報としてお知らせする内容というのはほぼ同様ですが、特集記事は月によって異なっており、例えば今年予算の公表など時期に応じて色々企画しています。これらの情報はホームページ等でも確認可能ですが、色々な世代の方に情報を提供するという観点から、アナログ的な紙面との併用で提供させていただいています。また、もったいないというお話がありましたが、私たちの説明が不足してしまっていて、以前は白黒でしたが、印刷会社も頑張ってくれているところがあり、カラーでも同じ料金でやってくれています。ありがたい御指摘なので、なるべくコストを抑えつつ、何とか皆さまに情報提供しようという取組みとして、市報の提供を行っているところです。

参加者 子ども達から質問があったのですが、ソラガーデンができておよそ10年になりますが、ボールで遊ぶ運動が禁止されており、半径2キロ以内にそのような場所がないようでした。子どもが多く、そういった所が近くにあると良いと思いますが、何とかならないのでしょうか。

市 長 私たちが子どもの頃は、結構ボール遊びをしていました。しかしな

がら、近年は子ども達にボール遊びをさせては危ないという世論の声もあり、行政としてすぐに対策を講じるというより、ボール遊びは禁止という流れになってしまっています。しかし、これでは子ども達が追いやられているという状況にもなってしまうため、市では一昨年より、子どもの未来を育む条例を作り、それを契機として、福岡中央公園では自治組織と連携して、ボール遊びが可能なエリアを作ろうと進めており、このような動きを全市的にも波及させたいと思っています。たとえば、エリアを限定し、子ども達だけの時間を設けるなど、一定のルールのもとでボール遊びができるよう、地域の人達で認め合って、子どもたちを育むという姿を実現したいと考えています。街中にそういった機運を起こしていきたいと考えています。

参加者 自治会のDX化について、ソラガーデンでは前自治会長が頑張ってくれていて、自治会に係る全ての資料をデータ化してもらいましたが、Wi-Fiが繋がっていないので、その活用に苦慮しています。各集会所にWi-Fi設備を導入して欲しい旨を推進委員会にも相談させていただきましたが、当時は難しいとの回答があり、自治会長が年1回で変わってしまうため、Wi-Fiの契約ができないとのことでした。そこで、市が契約者となってWi-Fi設備を導入して頂けると、自治会活動が便利になるほか、中高生が勉強の場などで利用でき、便利だと思うのですが、いかかでしょうか。

市長 先日、自治組織連合会総会があり、連合会では自治組織の会長や役員さんが集まるということで、議事を聞かせていただきました。その中でDX化について発言される方が多く、連合会としても、DX化についての研修に行ったりしていますが、色々課題があったようです。そこで、会長さんたちの前で、DX推進に向けての自治組織連合会に対する各自治組織に関する補助金を新規に作ろうという話をさせていただきました。それにはWi-Fi設置も含めて、6月補正ですぐに取り組みたいところでありましたが、各自治組織の事情や集会施設での契約形態などを精査した上で、なるべく早く予算化して支援出来ればと考えています。できれば皆さまから御意見をいただいて、進めていきたいと思っていますので、今しばらくお待ちいただきたいと思っています。

参加者 全国的に教員確保が難しいと聞いていますが、市として先生達の確保は十分できているのでしょうか。

市長 現在、教員数はほぼ本来の基準を充足できていると思っております。ただ、御指摘のとおり、できれば法的に加配をしてもらいたいところではありますが、分母となる教員数が全国的に少なくなっている中で、これも中々困難だと思っています。ただ、ふじみ野市としては正規教員の加配まではしていないのですが、教育支援員や補助員などは、近隣と比較するとかなり配置させていただいているのではないかという自負はあるところです。併せて東台小学校・東原小学校の統合という特殊事情もあるので、そちらへの加配もお願いしているところですが、それだけではなく、特別支援学級や通常学級でも発達障害のあるお子さんへの対応というのも通常以上にしていきたいと考えていますので、生徒指導支援員などサポートできるような体制に力を入れていきたいと考えています。

参加者 P T Aをやっていると他の学校の情報が入ってきますが、育休や産休等で不足が生じると代わりの先生が中々見つからず、今いる先生で補っている現状があると聞いています。市として、県に訴えて、特別な方策があるのかというのが気になりました。

市長 実態としては、教頭先生が授業に入るなど、欠けた部分を補っている現状があります。埼玉県の知事や教育長をはじめ幹部職員と県内の首長が全部集まる場で必ず出てくるような課題ではありますが、総数がない中で難しい側面はあるものの、諦めずに言い続けたいと思っています。

参加者 近くに文京学院大学があり、大学との連携も将来的に考えているのでしょうか。

市長 これから教員を目指すような学生さん達の協力をいただくのも一つの方法論と思っています。その辺りも含め、今後検討して参ります。

参加者 市ではオーガニック野菜とか、農家の応援とか、学校給食をオーガニックにしていくとか、何か取組みはありますか。

市長 オーガニックに特化した形にはなっていませんが、なるべく地場産で野菜の供給ができるよう努めているところです。ただ、オーガニックというところまで詰め切れていないというのが実態です。

また、学校給食となると安定供給が前提であるため、一定量をオーガニックで生産されている農家さんや農業生産法人だとか、そういうところとの協力体制が必要になると思いますので、将来的に課題の一つとして検討できればと思います。

参加者 先ほどの市長の話の中で現役世代を呼び込みたいとありまして、そのためには企業誘致が必要と考えますが、市として具体的な動きと効果について教えていただけますでしょうか。

市長 企業誘致については、誘致する場所が必要となります。市では産業振興課を中心として働きかけているところですが、国道254バイパスあたりは圏央道や16号など圏域内で大型の流通倉庫が欲しいとの声があり、ちょうど市が取り組んでいる田んぼのエリアは農業振興地域の指定を受けており、なかなか転用できない事情もあります。流通系の方々があの地域を求めているのは以前から承知しており、6～7年越しにようやく成就したところですが、規模感のある誘致をしようとするのが難しい面があります。また、ふじみ野市は市域も県内で4番目に小さく、限られた面積の中で工業系の企業を誘致しようとするのは厳しいですが、企業誘致全般でみれば、それほど大きなものでなくても、KDDIの研究所や大日本印刷、日本無線など、工場ではなく研究施設や営業所などの誘致を視野に入れながら、市の紹介をさせていただきつつ、進めているところです。

また、個人事業主レベルでは、商店街で空き店舗対策として、新規で起業する方に対して家賃の補助などが講じられますが、法人レベルだと税収の絡みなどで、雇用の創出とか、定着してくれるかどうかというだけの話ではなくなるので、この辺りも視野に入れつつ、このまちに暮らしていただいている方にもプラスの効果が出るような、そんな企業誘致ができればと思っています。

参加者 学校のプールについて、三角小学校も今年から民間の施設でプールを利用しますが、今年度学校側からプール清掃してくださいとPTAや親には来ていないので、学校のプールを復活させることはないのかなと思うのですが、跡地は今後、放課後児童クラブなど、何か活用方法はあるのでしょうか。

市長 学校のプール自体がかなり経年劣化してきています。毎年の衛生管理もしっかり実施しなければならぬところですが、毎年のように濾過機の修繕など、維持管理の費用がかかっている状況です。その一方で、学校で子どもたちがプールを行う時間は、年々少なくなっている実態があります。そこで、民間のスイミングスクール等を今後利用していくところですが、民間事業者が経営的な事情で事業をやめるなど、将来的に利用できないリスクもあります。段階的に全校に利用を

拡大していますが、将来的にはプールをなくし、放課後児童クラブや駐車場の拡大など、跡地の用途について調整していきたいと考えています。解体するとしても、子ども達に影響のないような解体の仕方と、リスク分散として次の施策展開までにいくつか残し、最終的には全部をなくした上で、せっかくの教育資源である敷地面積を有効活用できるよう、今後の検討を進めていきたいと考えています。

参加者 教育委員会でも頑張って調整してくれているようですが、三角小は所沢まで1時間かけて通っており、近場に欲しいイメージはありません。統合後の東台小学校跡地の利用も含め、検討してみてください。

市長 移動時間のロスは私も憂慮しています。それを解消するための施策展開が必要と考えています。また、市内では東台小と東原小の統合を控えており、公共的な敷地として、教育資源の有効活用を視野に入れながら検討を進めていきたいと考えています。

参加者 子育て支援の中で発育発達支援センターの話がありましたが、自分の子どもも現在小学1年生で、年中の頃から利用しており、センターから紹介のあった民間の放課後等デイサービスを利用しています。子どもと一緒に小学校に通っており、発育発達支援センターの方から紹介していただいて、民間の施設の方と一緒に小学校へ行って授業に参加するなどの機会が月2回あるものの、中々継続していくのは難しいと感じています。近隣市（川越市と富士見市）では月20回利用できると聞いているが、ふじみ野市でも回数増やせないでしょうか。

市長 個別のケースなので、どういう理由でふじみ野市がこういう形を取っているかということと、それがどこまで緩和できるか、拡充できるのか、担当課からも話を聞いて、御連絡させていただくようにします。